
学パロでヴェスペリアっ！

春日まりも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学パロでヴェスペリアっ！

【Nコード】

N2056I

【作者名】

春日まりも

【あらすじ】

テイルズオブヴェスペリアのSSです。内容はaboutに「パラレル」。キャラ達がギャグ一直線で突っ走る……。予定。詳しくは、「はじめに。&設定」を参照してください。

はじめに。&設定：

ここでは主に、テイルズオブヴェスペリアのSSを載せます。

内容はaboutに言っちゃって、パラレルでございます（ホントにabout）。

＞パラレル…公式設定とは、かけ離れた世界設定のこと。通称パロ。（ウィキペディア引用）＜

手始めに、学パロから書き始める予定です。

＼設定＼

・・・と言っても、基本的なキャラ設定（性格など）はまままです。

ただ、作者の脳内のキャラ達が、ちょっとアレな方向に走ってるので・・・そこらへんの備考（？）みたいなもんを、ね。

「メインキャラ」

【ユーリ】

アニキ肌。めんどくさがり屋。イタズラ好き。おかあさん。たまに不可解な行動に出る。よくセクハラされる（誰に？とかはあえて言わないでお願いします）。女装させられかけ未遂多々。自分に素直。（・・・あと、これは必需的な）甘いもの大好き！

【エステル】

丁寧口調。金持ちのお嬢様（お姫様設定を現代風に）だけど、女子高生的ノリにもついていける。超天然！に見えて中身はかなりく・・・（【テイルズV】のエステルをイメージください）。たまに誰もいない空間に向かってお喋り（謎）。フレンと裏で手を組

んでることが多い。

【フレン】

紳士……でも、理性が切れること多々。丁寧口調（ユーリに対して以外）……てか、ユーリのことについては別。ぶっちゃけ、壊れてるかも。リーダー的存在（色んな人に慕われてる）。

脳内七割ユーリのこと。ソディアからのストーリーカー行為に悩まされてる。エステルと何か企んでることが多い。

【リタ】

ツンデレ。寝ぼけてる時はデレデレ（にゃんこ状態）。ツツコミ担当……でも、たまにズレたツツコミをしてくる。エステルに弱い。以外と可愛い物好き。何だかんだでみんなのことが好き。

【カロール】

……まんまです。あえて言うなら、子供だからとからかわれること多し（主にユーリとレイヴンに）。以外とみんなよりも大人な時がある。リタのストレス発散役。

【レイヴン】

エロ親父。大人げないおっさん。みんなの保護者。常に何かに悩まされている。ふざけてる時とふざけてない時の比は、7…3ぐらい。アレクセイはイジメてくるから嫌い。学パロでは、やっぱり教師役。時たまにシュバーンに変身。

【ジュデイス】

ボン・キュツ・ボンなおねえさん。鋭いところをついてくる。何か意味深なことをサラツと言って去ることが多い。レイヴンを悩ませる（というか、軽くイジメる）のが好き。純粹にエステルとリタと

は仲良くしたいと思っている。

【ラピード】

裏のボス。

【パティ】

無邪気。神出鬼没。間違えて覚えてる言葉が多い。シリアスな雰囲気醸し出している、実際、何も考えてない時の方が多い。自称、ユーリの妻。

※パティについては、まだキャラが掴めてないところもあるため、ちょこちょこ変わると思われます。

「サブキャラ」

【ソディア】

フレン一筋。ユーリが嫌い。フレンのストーカー。でもそれらのこと以外は普通に真面目で優等生キャラ。

【アレクセイ】

どんなパラレルでも、常にみんなの上司。レイヴン（シュバーン時）をイジメるのが趣味。ストレスでよく胃がキリキリする（胃薬を流れるように飲む）。悪役だけどみんなを裏でこっそり温かい目で見えます。

【デューク】

一言で言えば、「謎」。電波少年。誤解しやすい。説明不足から勘違いされやすい。あえてのツンデレ。

【ザギ】

変態。ユーリのストーカー。いじられキャラ。

【その他】

ちよろちよろと出ると思う。

作品の傾向としては、ギャグ一直線。

多分、（若干）女性向きになると思います。

話は作者の趣向で、ノンストップで突っ走るとされます。
読むのは自己責任なので、そこはあしからず・・・・・・。

設定の時点で、「うわっ、無理！！」と思われた方は止めていただいた方がいいかと。

多分、本編で壊れたキャラが暴走すると思うので。

以上を読んで、「OK!」という方だけ、本編へgo♪

最後になりましたが、ごめんなさい。

こんなもの書いてごめんなさい。

では。

（多分、このページは後で書き足したり、書き引いたりすると思います。）

たて笛の話。(前書き)

※読む前に※

・学園パロです。

・セリフの書き方は、キャラの名前の頭二文字を取って、表してま
す。

例…ユーリのセリフ⇒ユー「○○○○」 フレンのセリフ⇒フレ「
○○○」

・何人か壊れてます。

本編を読む前に、「はじめに。&設定…」をお読みください。

たて笛の話。

「もー、許さねえ！」

そう声を上げ、フレンを勢いよく突き飛ばしたユーリは怒っていた。

「違う、誤解なんだ、ユーリ」

慌てた様子でユーリに弁解しようとするフレンはまるで……………

ジュ「妻に浮気のパレた夫みたいね」

エス「はいっ、フレンは夫で、ユーリは妻なんですっ!!」

リタ「いやいや、エステル。ジュデイスが言いたいのはそんなことじゃ……………って、何で目、輝いてんの？」

やけに目を輝かせているエステルはそっとしておき。

何故、ユーリとフレンが教室の真ん中でこんなにも騒いでいるのか。ことの発端は、フレンにあった。

ユー「何が誤解だ!! お前の部屋から俺のソプラノリコーダーの失くした上の部分が見つかったのが何よりもの証拠じゃねーか!!」
フレ「そ、それは……………」

(うわぁー)

一同が引いた瞬間。

ジュ「それは、いくら友達でも許されないことだわ」

エス「そうです。もういっそのこと、友達の線を飛び越えればいいのに……………」

リタ「だから、エステルは何でそう……………やっぱ、もういいわ」

リタは暴走するエステルをほっとくことにしました。
というか、諦めました。

ユー「お前が俺の笛の上を盗ったせいで俺は……俺は昨日、『グリーンスリーブス（音楽のテスト課題曲）』の練習が出来なかったじゃねえか!!」

フレ「ごめん、ユーリ。その、ちよつとした出来ごころなんだっ」
ユー「ぜってえ許さねえからな! お前、あれのソプラノパート、ど
んだけ難しいか知ってんのかっ」

フレ「本当にごめん。あれだったら、僕のテノールと交換してあげるから……」

ユー「ダメだ。それじゃ俺の、笛を吹くものとしてのプライドが許さん」

フレ「じゃ、じゃあ……」

怒るユーリに謝り続けるフレン。

そんな二人に冷静に突っ込む若人が一人。

カロ「えっ、ユーリ。突っ込むところそこじゃないんじゃない?」

パテ「なのじゃ（頷）」

カロ「というか、パティも……どっから現れたの?」

パテ「人には知らない方がいいこともあるのじゃ、うむ」

カロ「あ……そう。」

どこか話のキャッチボールが出来ていない、カロルとパティ。

カロルのツツコミに誰もが頷いていた。

騒ぎから数分後。

ユーリはフレンから放課後、ケーキを好きなだけ買ってもらうことで、フレンを許しましたとき。

そして、後日。

音楽のテストで課題曲が吹けなく、不合格だったユーリでした。
フレ「あれ? でも、ユーリ。君はもともと笛があまり上手じゃなか

ったんじゃ・・・何で、ソプラノを選んだんだい？」
ユー「俺は、己の限界に挑戦してみたかったんだ（キリッ）」
フレ「そ、そうなんだ」

おしまい。

たて笛の話。(後書き)

はじめまして、春日まりもです。

ついに一話、書いてみました!!

どうでしたか？

何というか、グダグダでしたよね(・・・)

ホントにごめんなさい。

次回はもっと面白くしたいです、はい。

ちなみに。

「グリーンスリーブス」は曲の名前でして、難しいパート順に並べたら、ソプラノ>アルト>テノールの順です。

ちよっと、説明不足だったかな？と思ひまして・・・・・・。

あと、フレンがユーリの笛の上部分を何に使ったかは・・・・・・
ご想像にお任せします。

では。

たて笛の話。？（前書き）

・前回に引き続き、学パロです。
・言い忘れてましたが、学パロの時は、みんなの年齢差などとは関係ない状態です。

たて笛の話。？

「おっさん、今度はアルトリコーダーがねえーんだけど」
それは前の騒ぎから三日後のこと。

ホームルームの時間にユーリは勢いよく、「はいっ」と立ち上がると担任に向かってそう言った。

レイ「はーい、その青年。俺様のことは『おっさん』じゃなくて、『先生』って呼びなさいねえ」

レイヴンが怒っているような、笑っているような微妙な顔で、ユーリを軽く窘めた。

しかし、ユーリはそれを平然と無視する。

ユー「おっさん、アルトなくなっただん……」

レイ「だから『先生』と……それ以上、俺様のこと無視したら、俺様の化学（担当教科）の単位落とすわよ？」

ユー「先生、ちょっと、よろしいでしょうか！（ビシッ）」
強行手段に出たレイヴンに、ユーリは負けました。

その様子を見ていた生徒たち。

ジュ「あら、あなた確か、前はお友達君にソプラノの上を取られてたところだったんじゃないくて？」

エス「だとしたら、またフレンが取ったんじゃないませんか？」

ユー「いや、それが、今回はアイツの部屋にはなかったんだよなあ」
そんな三人の会話を聞いて、レイヴンが聞いてきた。

レイ「あれ、青年ってばもしかして、そのせいで再テスト（音楽の）？」

ユー「おう、そうなんだよ。全く、めえーわくな奴……」
カロ「いやいや、それだけの問題じゃないと思うよ。現にソプラノ

からアルトに変えられてるしね」

カロルの的確なツツコミ。

それに反論するユーリ。

ユー「カロールっ、それは俺が下手だと言いたいのかつ!!」

カロ「いや、ユーリは、何というか、個性的な演奏をするというか・
・・・・」

ユーリの怒鳴り声にうろたえるカロール君。

そんなチキンなカロール君に助っ人参上。

リタ「てか、ぶっちゃけ、テノールでも危ないくらいなんじゃない
?」

レイ「おお、ストレート・・・・」

リタのストレートな言葉に若干、びっくりするレイヴン。

そんなリタの言葉にカロール同様、怒るのかと思いきや、ユーリは・
・・・

ユー「ぜってえ嫌だぜ、テノールはっ!! だって、あれ、学校のん
を借りなきゃいけないじゃないか。つまりは、関節キスだぞっ!!
しかも、誰かわからない何十年も前の奴と!」

ありえねえーと、そうギャーギャー騒ぎました。

それを聞いて、皆は心の中でこう思いました。

(えっ、親友にソプラノの上の部分取られて、何に使われたか分
かない状態の笛使うより、そっちの方が嫌なんだ)

カロ「ユーリ、ズレてるよ・・・・」

リタ「全く・・・・」

エス「さすが、ユーリですっ」

約一名、関心している中、レイヴン先生は一度、場の収集をつける
ことにしました。

レイ「まあ、とにかく一応、おっさんから本人に聞いといてやるわ」
ユー「おお、ありがとう、おっさん」

レイ「はい、そこ、『おっさん』言わない!」

リタ「さっき、自分で『おっさん』言ってたじゃない」

レイ「リタっちも、絶妙なタイミングで突っ込まないの。……
・はあー、今日のHR中に決めとかなきゃいけないのいっぱいある
のに、もう時間、ないじゃないの。……」

HRはあと、十五分で終わってしまいます。

さて、レイヴンせんせーは、無事に決めるものを決めてしまえる
のでしょーか!!

……は、さておき。

↓その日の放課後↓

帰宅後、ユーリが偶然、鞆を放り投げたところに何かを発見。

ユー「ん?」

よく見てみるとそれは……。失くしたはずのアルトリコーダ
ーでございました。

ユー「あちゃー……。フレン、ごめん」

ユーリは目の前にいない親友にひとまず手を合わせ、謝る。

↓後日↓

何のことやらわからないまま、無実のフレンはレイヴンに呼び出さ
れ、永遠と問いただされました。

レイ「いや、フレン君。おっさんはだなあ、君の将来のことについ
ても不安になってしょうがないんだよなあ。いくら親友とはいえ
……。普段は優等生の君がだなあ……。フレン」

フレ「あの一、先生、一体何のことでしょうか?」

レイ「いやいや、とぼけても無駄だからね……。レ」

おしまい。

たて笛の話。？（後書き）

こんにちは、春日まりもです。

今回のお話は、前回のお話の続編・・・・・・・・的なもの？

と、とにかくっ！！

今回はレイヴン先生の登場でございました。

いやあ、はじめは保健の先生にしようかな？と思ってましたが、保健の先生が担任だなんてないと思い、化学の先生にしました。

まあ、ぶっちゃけ、レイヴンに白衣を着てもらいたかっただけなんですけど、ね。

でも、化学の先生っていうか、理科系の先生だけど、リタに多分授業中、授業内容について、突っ込まれたりしてるんだろうなあ・・・
・・・とか、考えてみたりして（笑）

まあ、結論。

今回もグダグダでしたね。

本当にすみません（＜|＞）

では。

お知らせ&謝罪

突然でございますが、この作品、この度、“完結”という形で終わらせていただくことにいたします。

【理由】

- ・これ以上、話が思いつかなくなった。
- ・色々と練っている間にも連載の形を取っていると、更新しない限り、休止状態がずーと続いてしまう。
- ・色んなパロディのはずが、思いつくのは学パロばかり。
(→のことから、タイトルも変更。)
- ・演劇ギルドパロとか考えていたが、オチなし状態で断念。
- ・でも、決して、ヴェスペリアに愛がなくなったわけじゃないからねっ。

・・・・・・最後らへん、理由でもなくなってた。

まあ、というわけで、形状、一応完結にさせて頂くことに。

すみません(＜|＞)

また、色々と思いついて書きたくなったら短編などで書かせて頂きます！！

最後に。

途中まで考えて執筆していたものをこの後ろに載せてあります。

消すのも忍びないと思い、載せてみましたが・・・・・・学パロでない上に途中まででございます。

本当にすみません。

どなたかの妄想のお手伝いなどで使ってもらえたら、私は本望でございます！！

では←

幼稚園パロ【途中】
青い、青い空の下。

今日も、みんなは元気に遊びます。

ヴエスベリア
【聖明星幼稚園】

レイ「はいはい。みんなおっさんに注もーく！」

そう言いながら手を叩き、遊んでいる園児を集合させているのは、エプロンについたクマさんのアプリケが何とも可愛らしいレイヴン先生。

そんな先生の声のもと、元気いっぱいギルド組のみなさんは集まってきます。

カロ「あー、それ僕のものにー！！」

ユー「うるせえ。俺が今、持ってるから俺のもの！」

エス「あー、ユーリ。年下には優しくしなきゃダメですよっ」

リタ「ちよっとアンタ達、黙っててくれない？今、読んでところが良いところなのよ」

カロルとユーリは車のおもちゃと取り合っている模様。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2056i/>

学パロでヴェスペリアっ！

2010年10月9日12時03分発行